

2021 Autumn - Winter

学習院の今を綴る広報マガジン



G.LiFE

OUR
GAKUSHUIN
LIFE

Public relations magazine

Vol.
107



G.LiFE Web スタート!

特集

Special

永井 崇匡 選手インタビュー
～日本代表の経験を経て思う～



新
企画

日光光徳小屋さんぽ
our Log ノート 卒業生のバトン

G
Gakushuin

H
Human

File 2

映画監督 野本 梢

身体表象文化学専攻 (映画研究) 中田 真梨子

Contents

Background 研究・教育の背景を知る

私たちの多様性 - 課外活動篇

Seasons at GAKUSHUIN

STYLES in GAKUSHUIN

おすすめの一冊 ほか



G.LiFE

Public relations
magazine
Gakushuin life



SPECIAL CONTENTS

2

SPECIAL CONTENTS

特別インタビュー

永井 崇匡選手インタビュー

～日本代表の経験を経て思う～

東京2020 パラリンピック 男子柔道73kg級（視覚障害）出場 永井 崇匡

Feature

6

日光光徳小屋さんぽ

NIKKO KOTOKUGOYA GUIDE

GAKUSHUIN NEWS

8

GAKUSHUIN NEWS

10

人事・表彰

11

学習院の歴史と桜友会設立100周年 学習院長 耀 英一

Articles

12

私たちの多様性 - 課外活動篇

女子大学 はたおり部 / きもの文化部 / 箏曲部

13

学習院生紹介 | our Log ノート 猪谷 友佳理

14

連載企画 G → H

映画監督 野本 梢 × 身体表象文化学専攻（映画研究）中田 真梨子

18

Seasons at GAKUSHUIN

20

Background 研究・教育の背景を知る

物理と柔道を共に楽しむ仲間を育てたい

高等科 教諭（理科・物理）水野 直澄

22

卒業生のバトン 伊勢田 花観

23

STYLES in GAKUSHUIN

24

おすすめの一冊 大学 法学部 教授／学習院 専務理事 平野 浩

Notice

25

G.LiFE Web スタート!

Contents



永井 崇匡

NAGAI TAKAMASA

2019 年 3 月
大学 理学部 数学科卒業

東京 2020 パラリンピック
男子柔道 73kg 級
(視覚障害) 出場

1995年、群馬県生まれ。目の病気によって視力を失い、2歳で全盲になる。筑波大学附属視覚特別支援学校高等部を経て2015年、大学 理学部 数学科に入学。小学1年生から始めた柔道で徐々に頭角を現し、全日本視覚障害者柔道大会では3回の優勝経験を持つ。18年のアジアパラ競技大会（ジャカルタ）73kg級では銅メダルを獲得。大学在学中から視覚障害者柔道のトップアスリートとして活躍する。

19年3月に大学卒業後は、学習院職員として在職。「東京2020パラリンピック」に出場し、成績は敗者復活戦敗退7位。現在は数学の教員採用試験合格を目指して勉強中。

Profile

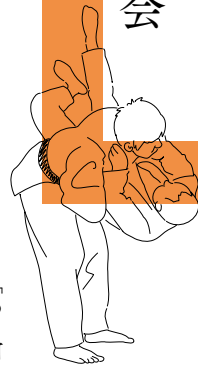


Interview

2013年に開催地が東京に決まった瞬間から、パラリンピック出場はずっと意識してきました。
新型コロナウイルスの影響で1年延期となり、さらに無観客での開催になってしまったので、今回はきつといつものオリパラとは違う状況だったとは思いますが、もちろん、私にとっては初出場のパラリンピックでしたから過去の大会とは比較できないのですが、やっぱり何とも言えない特別な空気感がありましたね。
本番当日は自分ではそんなに緊張して

Topic 1

柔道73キロ級
日本代表
として挑んだ
東京大会



初めてのパラリンピック会場には何とも言い難い特別な空気感があった

——永井さんにとって初出場となったパラリンピック、どんな思いで挑んだのでしょうか。

2013年に開催地が東京に決まった瞬間から、パラリンピック出場はずっと意識してきました。
新型コロナウイルスの影響で1年延期となり、さらに無観客での開催になってしまったので、今回はきつといつものオリパラとは違う状況だったとは思いますが、もちろん、私にとっては初出場のパラリンピックでしたから過去の大会とは比較できないのですが、やっぱり何とも言えない特別な空気感がありましたね。
本番当日は自分ではそんなに緊張して

1回戦はちよつと固さが残りつつも、まあまあ落ち着いて動けたと思っています。組んだときに「うわ、力強い相手だな」と感じましたが、それも想定の内。
——1回戦はアルゼンチンの選手と対戦。得意技の巴投げで一本勝ちを決めました。



僕は小学1年生から柔道を始めましたが、技を覚えていくときは先生に実際にかけてもらい、そこを出発点に「こうじゃなくて、こっちに動かすんだ」と指導してもらいながら覚えていきました。
対戦相手の分析は、コーチや周囲の人に相手選手の試合映像を見てもらって、その真似をして組んでもらいながらイ

いないつもりだったのですが、会場全体から伝わってくる空気感に影響された部分もあったかもしれません。
——永井さんは世界選手権の経験も豊富ですが、やはりパラリンピックは独特の緊張感があったのですか。

振り返ってみると一番緊張がピークに達していたのは、パラ開幕の1カ月前くらいだった気がします。
「あと何日後には始まるんだ」という焦りと、楽しみな気持ちが入り混じって眠れない夜もありました。練習をしている最中は緊張感が和らぐんですよ。「また今日も頑張ったから、よし大丈夫」と安心できる。でも家で1人でばーっとしていると、また緊張感が高まって、友達に電話して話を聞いてもらったりしていました。

範囲内で、落ち着いて自分の技が出せました。
2回戦であたったロシアの選手は、もう本当に強かったです。初対戦の相手でしたが寝技が強いことは知っていたし、警戒も対策もしていたつもりです。相手はスタミナがない選手だったので、ある程度凌いでから自分の展開に持っていけたら、というイメージもありました。ただ、その前に決められてしまった。
僕の場合は相手の映像を自分の目で見られないので、初めて組む相手だとしても難しいさもある。もちろんそこも含めて試合ですから、実力で負けてしまったことは仕方ないと思っています。

目が見えない全盲の人はどうやって柔道の「技」を身につけるのか？

——確かに、柔道の「技」は見えて覚えるものですね。全盲だった永井さんは、どのように習得してきたのでしょうか。

特集 Special

02

特別インタビュー
2021.10.5

パラリンピアン

永井崇匡選手

インタビュー

「日本代表の経験を経て思う」



学習院大学在学時から、視覚障害者柔道界のエースとして活躍。「東京2020パラリンピック」では準々決勝で敗れ、惜しくもメダルを逃すも、最後まで攻めの姿勢を崩さない勇姿を見せてくれました。
憧れの舞台だった初出場のパラリンピックは、永井崇匡さんの心にとどるように焼き付いたのでしょうか。閉幕から1カ月が過ぎた今の率直な気持ち、そして本腰を入れて目指す次の目標とは――。
6年間稽古に励んだ柔道場で、永井さんに話を聞きました。

Interview of Nagai Takamasa
Special
G.LiFE SPECIAL CONTENTS 02

メージを掴んでいきます。ただ、そうすると実際に組んだときに「結構違うぞ」と思う部分もある。そこが難しさですね。

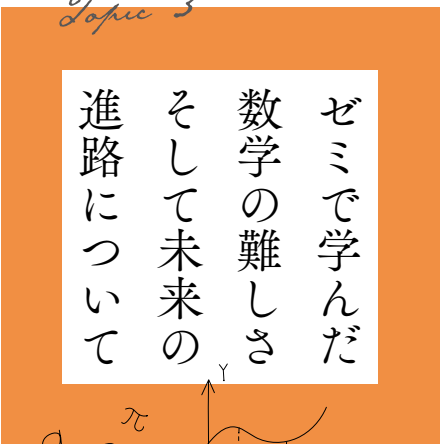


—その後、銅メダルがかったリトアニアの選手との敗者復活戦はどんな心境でしたか。

4分間のどこかで落ち着いて一本を決める、という気持ちでしたが、やっぱり自分の中に緊張感と固さがあったのかもしれない。序盤で巴投げを仕掛けて技ありを先取したものの、そこから一本背負いを相手に決められての敗退となりました。本当ならばもう少し競れる相手だったな、という悔しさは少しありますね。

ただ、パラリンピックが終わって振り返ってみると、2回戦のロシアの選手は10回対戦しても1回勝てるかどうかだろうな、という実力差を感じました。そういう意味では、気持ち的には今はスッキリしています。もちろん銅メダルを取れていたらもっとスッキリできたかもしれませんが。

でも、どんな結果であってもパラが終わったら柔道からいったん離れよう、とはずっと決めていましたから。



講義もゼミも柔道も、のびのびと学ぶことができた
—学習院大学を志望した理由は何だったのでしょうか。

自分よりも前に学習院に入学した全員の先輩が、「勉強できる環境が整っているし、スポーツも自分次第で強くなれるよ。永井にも合っているんじゃないかな」と勧めてくれたのがきっかけでした。実際に入学してみたらそのとおりで、勉強も柔道もすぐのびのびとした環境で学ぶことができた4年間でした。

—視覚障害の学生に対してはどのような配慮があったのでしょうか。

たとえば講義の発表でも、健常者であれば黒板に書いて発表することができま

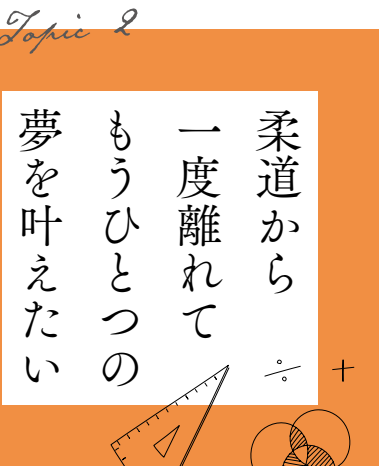


代理で書いてもらうなどしましたし、資料も点字にする準備が必要ですから、他の学生より早めにいただきました。周囲の友人たちにフォローしてもらったこともたくさんあります。

—勉強面で一番印象的だったのは？

4年生から始まったゼミ（山田澄生教授）ですね。4人しかいなかったのですが、発表の順番が回ってきて大変でしたが、多くの学びが得られました。大学の数学はやっぱり違うんだな、と実感しましたね。中高の数学はどうしても受験を見据えたものになってしまいがちですが、大学の数学は本当に理解できているかにフォーカスが当たる。高校の数学であれば回答を読めばだいたいは理解できたのですが、大学の数学は答えを読んでもという過程でそうなるのがわからない（笑）。他の資料を読み込んで「ああなるほど」とちょっとずつ理解しながら進めていくので、一行の数式を解くのに数日間かかることもありました。でもそういう過程が自分には合っていたし、面白かったですね。

振り返ってみると、数学と柔道、それぞれがいい影響を与えていた気がします。数学をやっているときは柔道のことを一切考えずにいられたし、柔道の練習中は数学から離れてリフレッシュできていた。このバランスがどちらかに偏っていたら、嫌になっていたかもしれません。



パラ出場×数学の強みを次ステージで活かしたら

—現在まだ26歳、次のパリ大会に向けて活躍を期待する声も聞えますが？

柔道は変わらず好きですし、練習は今後も続けていくつもりです。けれども、パラリンピックを目指すとなると、やはり日常の多くを犠牲にしなければならぬ。そういう生活にいったんは区切りをつけて、今まで柔道に費やしてきた時間を「数学の教員になる」というもうひとつの夢に向けて今後は使っていきたい。

—数学の先生になるという夢はいつから？

小学生の頃から算数はずっと好きでした。数字自体が大好きだったし、論理的に証明問題を考えていくような過程にも

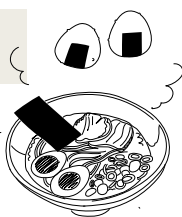
タイミングと環境が整えばいつか再びパラの舞台に立つかもしれない

—パラリンピックを終え一区切りがついた今、今後の人生の抱負は。

まずは来年8月の教員採用試験に向けて、勉強を頑張っていくつもりです。柔道からはいったん離れますが、嫌いで辞めるわけではないので、いつかまた再開するかもしれません。次のパリ大会には間に合わなくとも、2028年のロサンゼルス大会のときに、もしも目指せる環境にあれば頑張りたいな、という気持ちで最近湧いてきました。

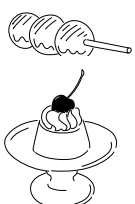
パラリンピック試合後の食事は？

おにぎり10個、ラーメン2杯、ステーキにアイスと、トレイいっぱいに乗せて、思い切り食べました。



選手村で印象的だったのは？

あらゆる意味で恵まれた環境で、食事が美味しかった。各国料理からデザートまで種類豊富で5kg太りました（笑）。

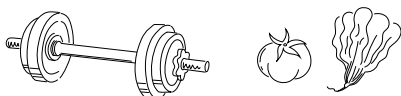


試合前の減量はどうやって？

普段はタンパク質と野菜は多めに、測定1週間前は炭水化物をしっかりと摂り体重も毎日欠かさず増減をチェック。

柔道以外に好きなスポーツは？

球技と筋トレ。体を鍛えること自体が好きですね。柔道から離れても何かしらのトレーニングは今後も続けていきます。



魅力を感じます。その延長線上で学習院の数学科に進みました。
将来の選択肢として「教師」という職業を意識するようになったのは、中学生のときの数学の先生の影響です。教え方がわかりやすかったし、「こんな解き方もあるんだ！」という数学の面白さを伝えてくれる先生だったんですね。授業の合間の雑談もすごく刺激的でした。その先生も全盲でしたが、1人で海外旅行にも出かけたという話を聞いて、「視覚障害者でもいろんなことができるんだ」と衝撃を受けた記憶があります。いろんな意味で生き方のお手本を見せてくれた。
自分もそんな風に、数学の面白さを伝えながら「こんな生き方もあるよ」と伝えられるようになったら、数学を教えられる人はたくさんいますが、パラリンピック出場経験があつて数学も教えられるとなるとそんなにいませんよね。そこがきっと自分の強みなので、それも含めて教員になりたいという思いがあります。





日光 光徳小屋 さんぽ

NIKKO
KOTOKUGOYA
GUIDE

奥日光の自然を
体験できる光徳小屋



栃木県日光市の日光国立公園戦場ヶ原近くにある2階建ての山小屋、日光光徳小屋。
感染拡大防止のため一時貸出を中止しておりましたが、貸出を再開したこの機会に魅力をご紹介します。

PHOTO
1

光徳小屋の周りの景色

ドローン
撮影！



広い芝生では
ピクニックや星空観察ができる

紅葉の見頃は
10月中～下旬

お子様に人気の小川
苔むした水源への散歩もおすすめ

砂利道の突き当たりにある小屋は開放感抜群のロケーション。標高約1500mの高地で夏でも涼しい風を感じることができ、目の前の小川での水遊び、四季折々の植物や星空観察等、自然を満喫できます。

PHOTO
2

光徳小屋の内観

1F リビング・キッチン・
シャワー・トイレ
2F 寝室3部屋・ベランダ



冷蔵庫があり食料を
送っておくことも可能

ご自身の寝袋を
持参してもOK

調理器具と食器が充実したキッチンでは自炊が原則。天然ミネラルウォーター*の水は最高のご馳走です。ストーブのある広いリビングから、野生動物が見えることも。山小屋風の二段ベッドはご家族に好評です。

*水質検査済み



小屋のリビングの本棚には、
昭和32年頃～現在までに泊まりに
来た方々が綴った日誌があります。
懐かしい当手を思い出しに訪れてみては？



KOTOKUGOYA History

1930（昭和5）年頃に学習院輔仁会山岳部を中心とした関係者によって山小屋設置の検討が始まり、帝室林野局より林地の貸与を受けて1939（昭和14）年11月に光徳小屋は開設されました。その後、1951（昭和26）年の火事によって一度は焼失してしまいましたが、同年の11月には再建し、現在の小屋は1980（昭和55）年に新しく建てられた3代目になります。

学習院の山の家 日光光徳小屋の概要

勉学の余暇、春夏秋の登山やハイキングの休憩所、
アウトドアのための施設としてもご利用いただけます。



栃木県日光市中宮祠官有無番地

☎ 0288-55-0706

🚗 新宿・上野・浅草駅→JR日光駅・東武日光駅（2時間）→バス乗換（光徳温泉経由湯元温泉行）→中禅寺湖→光徳温泉下車（1時間10分）→徒歩（20分）

🚗 首都高速→川口JCT（東北自動車道約1時間）→宇都宮IC（日光宇都宮道約40分）→日光IC（約10分）→清滝IC（約30分）→国道120号（約40分）

予約対象
●本院の学生、生徒、児童、園児および教職員
●本院の教職員家族
●本院の在学生父母、卒業生および賛助員
●本院が認めた者

利用期間
5～10月（冬季は雪のため閉鎖）
状況により変更の可能性あり。学習院ホームページ等でご確認ください。

施設概要
●客室：3室（和室大：約10畳、和室小：約6畳、宿泊室：約16畳）
●収容人数：19名 ●駐車場：5台（離れに3～4台）
●浴室：シャワーのみ ●トイレ：ウォシュレット（男女別）
●食器：あり ●寝具：あり（シーツ、掛け布団カバー、枕カバー配布有）
●テレビ：なし ●Wi-Fi：なし ●備品：医薬品、CDラジカセ、図書等

ご利用
方法

ご予約は利用希望日の3ヶ月前から、お電話にて承っております。
お申し込みは利用日の1週間前までに申込書の提出が必要となります。

☎ 03-5992-1053

●施設への直接の予約・お申し込みはできません。
●詳しくは <https://www.gakushuin.ac.jp/ad/kanri/kougai.html> をご確認ください。



宿泊者が気持ちよく過ごせるように維持・管理をしてくださっている日光光徳小屋の管理人さん。光徳小屋管理人では初の学習院卒業生。お二人とも「あるける同好会OB・OG」。2022年春に任期満了で小屋を離れる予定。

三樹 大治 昭和52年3月 大学 経済学部卒
三樹 千鶴子 女子中等科・高等科を経て昭和53年3月 大学 法学部卒



三樹さん手作りの看板



季節の
草花と
木々

4月下旬 タチツボスミレ、ミツバツツグ、アカヤシオ
5月 オオヤマザクラ、トウゴクミツバツツグ、シロヤシオ、アズマジャクナゲ、ズミ、ベニササドウダン、クリンソウ
6月 ヤマツツグ、レンゲツツグ、アヤメ
7月 ニッコウキスゲ、ハクサンジャクナゲ、ニッコウアザミ、ホザキシモツゲ
9月 シロヨメナ

三樹さんに教えていただきました

小屋の
周りの
生きもの

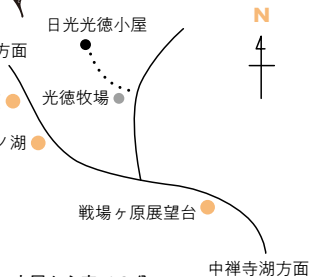


ニホンジカ
ニホンザル
ツキノワグマ
アズマヒキガエル
エゾハルゼミ
アカアカネ
群れや親子など毎日のように現れる。
時々群れや子ザルたちの遊ぶ姿が見られる。
目撃は殆どなし。クマ剥ぎやクマ糞をよく見る。
GW頃繁殖期を迎えガマ合戦が見られる。
5月から鳴きだす蝉がいる。雨前に鳴き止む。
俗に言う赤とんぼ。7～8月に多数飛び交う。

SPOT

おすすめ 周辺スポット

小屋周辺には中禅寺湖以外にも
様々な観光スポットがあります。



小屋から車で8分

戦場ヶ原展望台

男体山、太郎山などを一望できる。
昼はハイキングコース、夜は天体
観測として有名なスポット。
住所：栃木県日光市中宮祠／駐車場：有
0288-22-1525（日光市観光協会）



湯ノ湖

湯滝

湯ノ湖の南端にあり
高さ70m長さ110mの滝で
観瀑台から迫力の滝壺が見られる。
住所：栃木県日光市湯元／駐車場：有
0288-22-1525（日光市観光協会）



小屋から車で13分

湯ノ平湿原

歴史ある名湯、奥日光湯元温泉街の源
泉には硫黄泉が湧き出る数カ所の源泉
小屋があり、湯気が立ち上っている。
住所：栃木県日光市湯元／駐車場：有
0288-22-1525（日光市観光協会）

大学

2021.11

新型コロナワクチン接種状況第2回アンケート調査結果について

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/news/2021/1118.html>

第1回アンケート結果はこちら

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/news/2021/0922.html>

新型コロナウイルス感染症およびワクチン接種にかかる啓発、学校活動の在り方を検討する参考資料としての使用を目的として実施しました。

実施方法：G-Portのアンケート機能を利用（回答は任意、匿名）

回答者数：855名 / 9223名

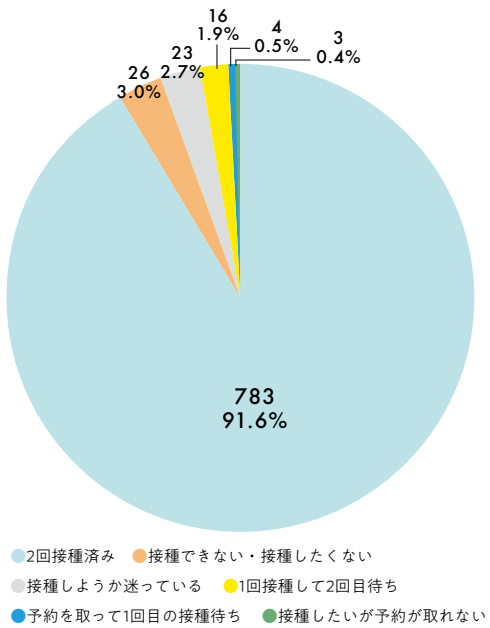
実施期間：2021年11月5日（金）～ 2021年11月16日（火）

回答率：9.2%

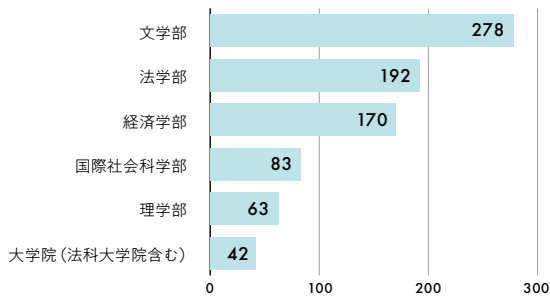
対象者：大学に在籍する全学生

設問 1 あなたの新型コロナウイルスワクチン接種状況（アンケート回答日時点）を教えてください（必須）

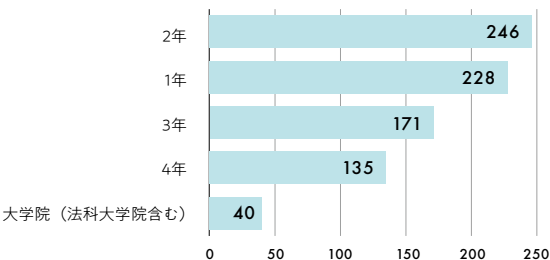
回答者数 855名



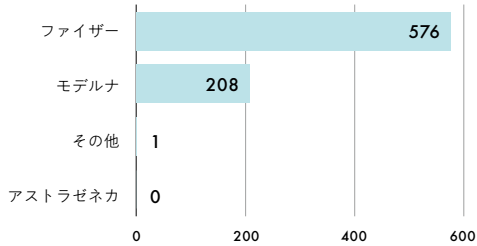
設問 2 あなたの学部を教えてください（任意）
回答者数 828名



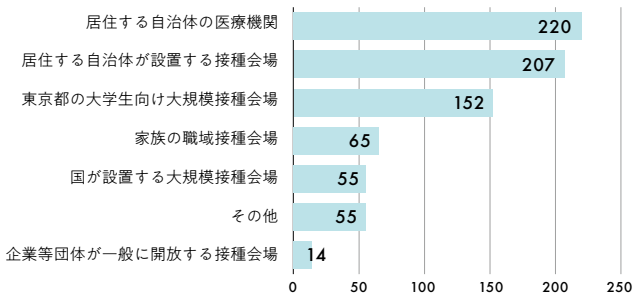
設問 3 あなたの学年を教えてください（任意）
回答者数 820名



設問 4 （※ワクチンを接種した方・接種する方）
ワクチンのメーカーを教えてください（任意）
回答者数 785名



設問 5 （※ワクチンを接種した方・予約済みでこれから接種する方）
ワクチン接種の場所を教えてください（任意）
回答者数 768名



ご協力いただいた皆さまありがとうございました。

リリース

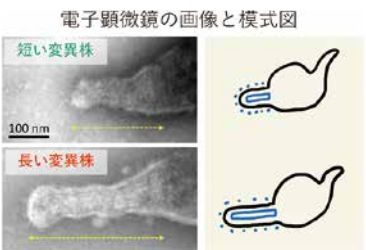
研究成果

2021.11

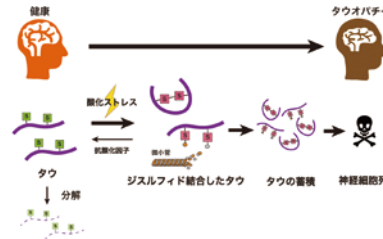
2021年6月以降のプレスリリース一覧

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/about/pr/press/index.html>

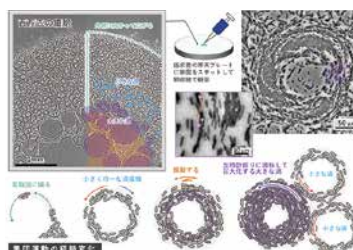
【研究成果】 2021年6月11日
「小さな細菌がもつ分子ものさし」
発表者：西坂 崇之（理学部 物理学科・教授）ほか



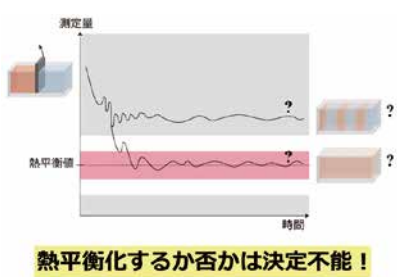
【研究成果】 2021年6月21日
「タウ蓄積の新たなスイッチを発見！～ジスルフィド結合の形成をブロックすることで、認知症での神経細胞死を抑制！？～」
発表者：高島 明彦（理学部 生命科学科・教授）ほか



【研究成果】 2021年6月23日
「細菌集団は右には回れない？」
発表者：西坂 崇之（理学部 物理学科・教授）ほか



【研究成果】 2021年8月24日
「熱平衡化の問題は、一般的な形では解決不可能な問題であることを証明」
発表者：白石 直人（理学部 物理学科・助教）

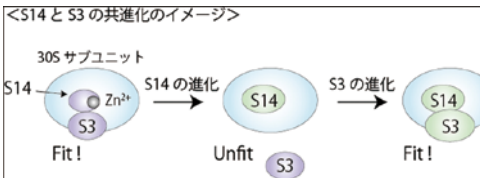


← 本研究成果に関連して、白石先生と教育系YouTuberヨビノリたくみさんのコラボ動画が公開されています。ぜひご覧ください。

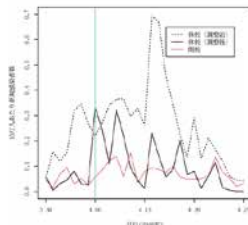


- リーマン予想と関係してる？熱平衡化の決定不能性【学術対談】
<https://youtu.be/OSYc21aEcDY>
- これまで会った中で1番天才だと思った人【学術対談】
<https://youtu.be/yz2PvOFD3HY>
- 新進気鋭の物理学者のデスクツアー【研究者の机】
<https://youtu.be/GNyJsEE9a4g>

【研究成果】 2021年9月30日
「キメラリボソームの作製と特性理解によるリボソームタンパク質の進化の考察」
発表者：赤沼 元気（理学部 生命科学科・助教）、菱田 卓（理学部 生命科学科・教授）ほか



【研究成果】 2021年11月5日
「2020年春の日本における小中学校の臨時休業、新型コロナウイルス感染症の蔓延を抑制する証拠は見いだせず」
発表者：福元 健太郎（法学部 政治学科・教授）ほか

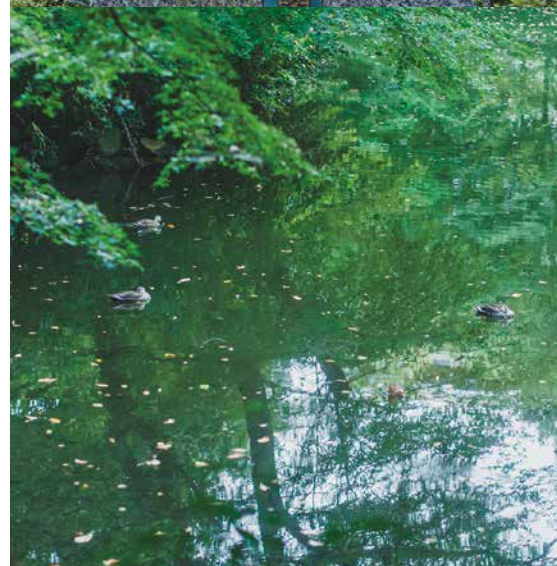


注）発表者は学習院関係者および学習院の所属先のみ記載。

学習院の歴史と 桜友会設立100周年

学習院長 耀 英一

Akaru Eiichi



学習院の起源は弘化4年（1847年）公家の教育機関として京都御所日ノ御門前に設けられた京都学習所にあります。嘉永2年孝明天皇より「学習院」の勅額が下賜され、校名が定まりました。

明治10年（1877年）華族会館（現在の霞会館）の発議により同年6月に華族学校が開校、10月17日開業式が挙行され、改めて「学習院」の勅額を下賜されました。

学習院はこの時をもって創立とし、令和9年（2027年）10月に創立150周年を迎えます。明治17年宮内省所管の官立学校となり、翌明治18年には官立華族女学校が創設され、のちに学習院女学部となりました。

明治10年、学習院創立直後に卒業生有志により「学習院同志会」が発足し、詳細は不明ですが同窓会活動がなされていた。明治33年「学習院同窓会」と名称が改められ、大正10年（1921年）、桜友会として発足し、令和3年11月に設立100周年記念式典が行われました。

この間、学習院は、昭和20年太平洋戦争の終戦直後に存続の危機を迎えます。時の第17代山梨勝之進院長をはじめ、桜友会、父兄会（当時）の方々の大変なご努力で、財団法人学習院として存続できることとなりました。財団法人（その後の法律改正で学校法人）は、桜友会がその中核となり、新たに組織された父母会と教職員、三者の代表で組織され、理事、評議員もこの三者から同数が選出されることを原則とし、そ

れに学識経験者若干名を加えて、財団法人の公正な運営を図ることとなり、この仕組みはそれから74年経た今日まで全く変わっておりません。

桜友会は、卒業生の団体であると同時に学習院の経営主体の一角を担っていただいております。

存続の危機を脱した学習院も私立学校として再出発し、昭和24年に学習院大学も設置され、桜友会もその後の発展の礎が築かれました。

桜友会も、平成23年には一般社団法人となり、今や会員数14万人という大組織となつて、学習院の経営の一角を担っていただくと共に学習院に対し物心両面から手厚いご支援とご協力をいただいております。

桜友会からは、この度設立100周年を記念して学習院に対し1億円という多額のご寄付をいただきました。現在建設中の大学新東1号館の建設資金、大学における寄付講座の開設の他、女子大学をはじめ各学校のキャンパス環境整備に有効に使用させていただきます。

学校法人学習院も、6年後の創立150周年に向けて令和4年度からスタートいたします次期中期計画「学習院VISION150」をその指針として、躍動し、選ばれる学習院を目指して、設立100周年を迎え飛躍する桜友会と共に、これからも輝かしい歴史を刻んでまいります。

ご後援をいただく皆様方の更なるご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

役員人事

就任理事

校規第7条第2項該当（評議員の互選）

・竹田 恭子（常磐会会長）
任期 R3.7.30 ~ R5.9.8（前任者の残任期間） R3.7.30付

校規第7条第3項該当（学識経験者及びこの法人の関係者）

・香取 純一（重任）
任期 R3.11.1 ~ R6.10.31 R3.11.1付

退任理事

校規第7条第2項該当

・近衛 甯子 R3.7.29付

就任監事

校規第16条第1項該当

・梅田 尚利 任期 R3.8.1 ~ R6.7.31 R3.8.1付
・小島 勝利 任期 R3.11.1 ~ R6.10.31 R3.11.1付

退任監事

校規第16条第1項該当

・久邇 朝宏 R3.7.31付
・鈴木 博晶 R3.10.31付

表彰・受賞

春の叙勲

瑞宝中綬章 ・岩田 規久男（大学名誉教授） R3.4.29付

秋の叙勲

旭日中綬章 ・内藤 政武（学習院名誉院長）
瑞宝中綬章 ・松島 正一（大学名誉教授）
以上2名 R3.11.3付

学習院特別功労章

（個人）・荒井 喜八郎 殿 以上1名 R3.7.6付

学習院功労章

（個人）・諸戸 典子 殿
（匿名）3名 以上4名 R3.7.6付
（個人）・六車 徹 殿 ・長崎 溢子 殿
（匿名）1名 以上3名 R3.12.7付

Our Log 1-1-



NAME Itani Yukari
猪谷 友佳理

DATA **大学** 大学 文学部 日本語日本文学科 3年
課外活動 所属なし（元ソフトテニス部）
出身県／出身校 福井県／福井県立藤島高等学校

TIMELINE

10歳 昔はこんな子でした

本が好きで、読書ばかりしていました。その反面、バスケットボールをやっていたこともあり、スポーツが好きな天真爛漫な子でした。おかげで身長が170cmを超えました。

21歳 勉強で頑張っていること

文学部に所属していることもあり多様な文学に触れる機会が多いため、様々なジャンルの本を読んでいます。現代小説から古典文学など幅広く本を読むことで、知らなかった世界や知識を得ることができます。また、隙間時間を使って資格の勉強をするようになりました。

最近 熱中していること

アルバイトと映画鑑賞です。1年生の時から百貨店の洋菓子店でアルバイトしており、お客さんとのコミュニケーションを楽しんでいます。映画は洋画が好きで、最近観て良かったものは007シリーズです。

?歳 未来の自分へメッセージ

なりたい自分になっていますか？笑顔を忘れず、毎日を楽しんでください！

今のわたし

取材は初めてで緊張したけど楽しかったです！

自分なりの勉強方法

図書館に籠り、1時間集中して10分休憩を繰り返しています。休憩中は自分の好きな本を読んだり、何も考えずにぼーっとします。週に2回以上は図書館で勉強をします。

キャンパスのおすすめスポット

さくらラウンジで友達と喋りながら、空きコマの時間を過ごしています。週替わりのアイスが美味しく、お気に入りの味はミルクティーです。

平日の時間割

8時起床→9時課題→12時昼食→13時図書館で勉強、19時帰宅→20時夕食→21時映画鑑賞・読書→25時就寝

Log.1



私たちの多様性 Campus Activities

Case 4

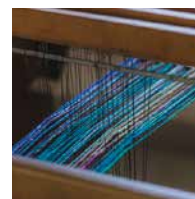
女子大学

はたおり部

WEAVING CLUB



私たちは主に女子大学内にある機織り機を使用して作品作りをしています。機織りの先生のご指導のもと、コースターやランチョンマットのような雑貨から、マフラーやポンチョのような身につけるものまで、多様な物を製作しています。夏には紬や型染の工房や織物の博物館などの見学を行い、見聞を広めています。また、機織りの他に染め物や組紐の製作など糸を使用した様々な活動も、部員の興味や関心に沿って行っています。



最近ではコロナ禍の影響で女子大学内での活動ができず、自宅でそれぞれ作品作りを行っています。自宅での活動がしやすいように、2020年度には藍染キットや手軽にストラップやベルトなどを作るカード織キット、2021年度には卓上機織り機を部で購入し、部員たちが女子大学内で活動するのと同様に自由に作品作りのできる環境を整えています。



Case 5

女子大学

きもの文化部

KIMONOBUNKA CLUB



私たちは外部から先生をお招きし、美しく装い、美しく立ち居振る舞い、美しく凛とした女性を目指す事を目標に着物の着付けや作法を学んでいます。着物が自分で着られるようになり、さらに他の人にも着せられるようになります！浴衣や振袖、七五三の着付けなど幅広く学ぶことができ、資格も取得できます！ぜひ一緒に着物を学びましょう☆



今年6月にきもの装いコンテストの世界大会が行われ、部員1名が振袖の部に出場し準女王に選ばれました。今年11月に行われるきもの装いコンテスト地区大会では部員2名が振袖の部に出場予定です。（※2021年10月取材時点）



この状況下では集まって活動することはできませんでしたが、女子大学で活動の際は部員同士で着崩れてしまった部分を直し合ったり、先生だけでなく先輩方に着付けを教えてもらうなどとても和気あいあいとした雰囲気、楽しく学ぶことができます！

Case 6

女子大学

箏曲部

KOTO CLUB



毎週金曜日の4限後に生田流の先生にお稽古していただいています。他の曜日に自主的に練習をする学生もいます。活動場所は互敬会館（3号館）3階の和室です。新入生歓迎会や和祭等に向けて活動しています。不明な点を先生に教えていただき、良い演奏ができるよう励んでいます。部員同士、和気あいあいと練習しています。



春学期はオンラインで先生にお稽古をしていただきました。また、部員でオンライン交流会を行いました。



お箏を弾くのは難しそうかもしれませんが、部員のほとんどが初心者です。少しでも興味を持った方はぜひ箏曲部に来て一緒に箏を弾きませんか？お待ちしております！

どんなヒトになる？

連載
企画

G 学習院
を経て

どんな

H 人

になったのか

身体表象文化学専攻
(映画研究)

中田 真梨子 — 映画監督 野本 梢

File 2

GAKUSHUIN Alumni

学習院の学生の目線から
活躍するOGへのインタビュー

Gakushuin

Human

Interview

Nakata Mariko

Nomoto Kozue

G H

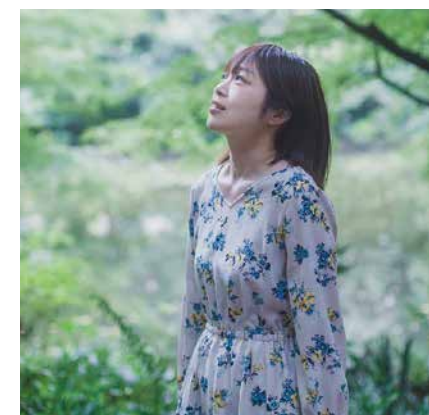


中田 真梨子

身体表象文化学専攻(映画研究)

—— 最近の活動 ——
実写映画における動物表象を研究しています。映画は人間の為のエンターテインメントですが、動物も被写体として数多く登場しています。しかも、CGやアニメーションなどで操作されながらも私たちはその姿を見て感動します。そのメカニズムはいったいどうなっているのか？ 修士論文としてまとめたと思っています。

—— プロフィール ——
東京都出身。大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻博士前期課程2年。専門は映画研究。2003年に米国カリフォルニア州、マリアン・カソリック高校(現マーテル・デイ高校)卒業。2009年に学習院大学文学部英米文学科卒業。卒業後は一般企業での勤務を経て、2018年に同大学院に入学。2020年から創形美術学校の非常勤講師。現在の研究テーマは「実写映画における動物表象」。修士論文は、1995年に公開された実写映画『ベイブ』に登場する「話す」動物を巡る表現技法について。



野本 梢

映画監督

—— プロフィール ——

埼玉県出身。大学文学部日本語日本文学科卒。在学時に女子のフットサル部を立ち上げる。学生時代はミュージック・ビデオ制作会社でアルバイトをし、卒業後はスポーツインストラクターやテレビ局の事務として苦虫を噛み思いをしながら映画や脚本のクラスに通う。穿った見方を活かした短編映画を制作し、数々の賞を受賞。現在は学習院でお局感が出ないように留意しながら映画制作との両立を図っている。

—— 最近の活動、今後のスケジュール ——
第24回東京国際レズビアン&ゲイ映画祭にてグランプリを受賞した『私は渦の底から』(2015/27分)や、福井駅前短編映画祭2019にてグランプリを受賞した『次は何に生まれましょうか』(2019/25分)などを制作後、初のオリジナル長編映画として発表した『愛のくだらない』(2020/95分)が、第14回田辺・弁慶映画祭にてグランプリを受賞。テアトル新宿、池袋シネマ・ロサを経て各地で公開中。

G

学習院で過ごした
時間や経験は、監督業に
影響を及ぼしていますか？

H

私が入学したとき、学習院には女子がフットサルをやる環境はありませんでした。男女混合サークルなどはあったのですが、それだと男性が女性に遠慮してしまうのです。どうしても女子だけでやりたいと思い、女子のフットサル部を立ち上げました。その経験は、映画監督として作品を立ち上げ、スタッフを集め、目標に向かって活動するという部分で今も支えられている経験です。現在も女子のフットサル部が継続しているようで嬉しいです。

G

映画制作の面白さは
どこでしょう？

H

面白い部分でもあり、緊張するところでもあるのですが、シナリオを役者さんに渡したあとの最初のリハーサルです。カメラも照明もないなか、ただただ芝居と向き合います。この役者さんはいったいどんな芝居をするのか？ 役柄をどう解釈しているのか？ 怖いときもあります。そこでのキャッチボールで芝居を変えたり、理解度が深まったりするので面白い過程だと思います。

G

タイムマシンで行き
たいのは未来？過去？

H

過去です。私は映画を撮りはじめたのが遅かったので、多感な時期に感じていたことを過去に戻って作品として残せたらなと思います。24、25歳頃の波乱なエピソードには事欠かないので、そこで考えたり、見えていたものをあのときの感覚で残したいです。未来に関しては、今の自分が作っていくと思っているので、その結果がいいものでも悪いものでも知ってしまうとつまらなくなってしまうと考えます。

いろいろやってみて良かった

H

G

後輩たちにメッセー
ジをお願いします

私はけっこう人と違う進み方をしてきました。後悔はしていません。いろいろやってみて良かったなと思っています。流れのなかで今は映画の世界にいますが、何かをはじめないと誰にも出会えません。自分から動くことによって、自分が何をやりたいのかわかることがあります。けっこう誰かが助けてくれたりするので、まずはたくさん人と出会ってほしいと思います。

H

G

今後どのような映画
を撮りたいですか？

最新作の『愛のくだらない』でも触れた部分ですが、不妊治療をテーマに映画を作りたいと思っています。学生時代の友人がある日、不妊治療をしていることを打ち明けてくれました。そこで聞いたのは、妊娠できる保証はないとわかったうえで、続けていかなければいけないということ。精神的にも金銭的にも体力的にもシビアなこと。私は詳しくいいことを全然知らなかったのだから向き合った映画を作りたいと思っています。

学習院の学生の目線から 活躍するOG へのインタビュー

Interview File 2

G

Gakushuin

H

Human

G

から

H

に聞きました

中田さん

野本さん



GAKUSHUIN Alumni

H

G

映画作りの
インスピレーション
はどこから？

セクシャルマイノリティに昔から関心があったので、『私は渦の底から』という作品で同性愛の女性を主人公にしました。それ以降の作品に関しては、私の作品を観た人が、「人に言えていない悩みがあるので映画にしてほしい」と話してくれて、映画を作ることが多いです。それに、映画を作り終えたあとも、そのテーマについてのアンテナは張っています。映画を作って終わりというわけではないと考えています。

在学中に
女子のフットサル部
を立ち上げました



インタビューを終えて

G

撮影ではみんなの意見を吸収して、柔軟に変化させていくという話を伺って、その姿勢が素敵だなと思いました。



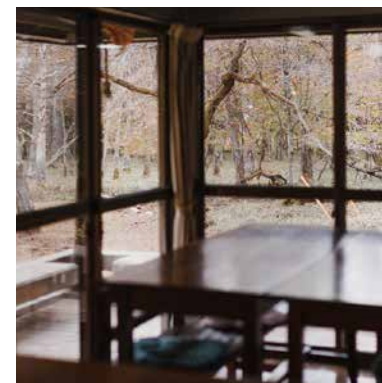
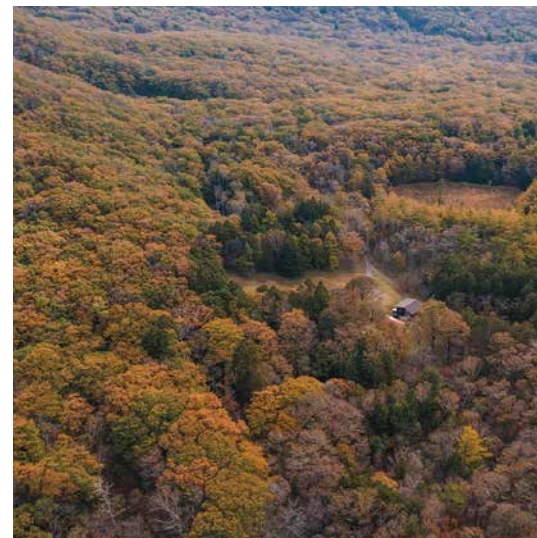
Seasons at GAKUSHUIN

2021
Mejiro Campus &
Nikko kotokugoya
in October

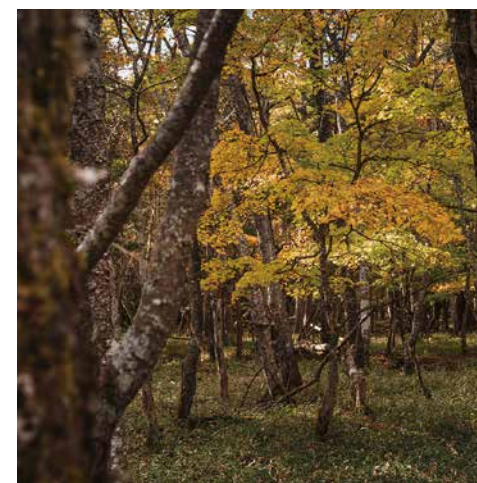
*Four Seasons and
Gakushuin Campuses*



Summer



Autumn



「西郷隆盛漢詩集」より



研究・教育の背景を知る

Background

物理と柔道を共に楽しむ
仲間を育てたい

高等科 教諭（理科・物理） 水野 直澄

学習院のご出身だそうですね

中等科・高等科・大学・大学院までずっと学習院です。修士2年からは高等科で非常勤講師を務め、修了後に専任教諭として採用されました。

中等科を受験した動機は、学校説明会でここを気に入った母の薦めがあったことと、学校に温水プールがあったこと。小学生のときは水泳を習っていましたから。

では入学後は水泳部に？

はい。ただ、中等科の水泳部のレベルが高くて選手としては活躍できませんでした。体はどんどん大きくなったのですが、タイムが速くなることはなく、1年のときの自己ベストを更新できないまま終わりました。

高等科では柔道部と山岳部に入りました。とくに力を入れたのは柔道です。父が柔道を

やっていたことも影響しているかもしれませんが、なんとなく自分は柔道に向いている予感があったんですよ。柔道って意外と駆け引きなんです。水泳のように自分がずっと動くのではなく、相手を動かしたり、動かされないようにしたりを考えながら取っ組み合う競技なんですね。だから疲れて考えられなくなると負ける、頭脳のスタミナ勝負でもあります。そうした部分も性に合っていたのか、以来ずっと柔道は続けて、今は柔道部の監督をやっています。

教員を志したのはいつ頃ですか

教員志望の気持ちが強くなったのも柔道のおかげです。高等科の柔道部は部員が少なかったので、大学の道場でずっと練習していたんですよ。そのときに大学の先輩たちに色々教わったこともあって、「学習院でずっと柔道を続けたい」という気持ちが芽生えてきました。それを叶えるための手段のひとつとして教員の選択肢が浮かんできました。中等科・高等科いずれも先生方に恵まれていたこともあって、仕事として選んで悔いはない職業だろうということは当時から思っていました。

学生時代から理科は得意だった？

理科と数学は得意でしたね。生物や地学も好きでしたが、物理はいろいろな現象を数式という言葉で表すのが面白いな、と。

物理は、もともと面白い学問なんです。『宇宙はどうなっている？』『磁石はなぜくっつく？』という疑問は人間の基本的な興味としてあるものですよ。教師を目指すにあたって大学で物理を専攻に選んだのは、そういった物理の面白さが少しずつ見えてきたというのがあります。

とはいえ、正直に打ち明けると私自身は学生時代、そんなに熱心に勉強するタイプではなかったんですね。「50点未満は赤点」と言われたら、「じゃあ50点取ればいい」と考えるような、下のハードルを見るタイプでした。でもだんだんと専門が高まり、研究室にまで到達すると、そうしたやり方では通用しなくなっていました。

大学4年から入った溝口正教授（当時）の研究室でそのことを痛感させられました。溝口先生はこちらが曖昧にしか理解していない箇所があると即座に見抜き、「君は赤本（『物性物理学』）の〇ページを読んでいないのかい？」と厳しくも的確に指導してくださる教官でした。世界の最先端で研究を続けている溝口先生の姿には本当に多くを学びました。情熱という言葉では到底足りないほど、研究に人生のすべてを懸けられている方でした。2014年に訃報に接したときは、物理界の損失だと心から残念に思いました。

高等科の全学年を対象に物理を教えています。授業で心がけていることはありますか

生徒全員が学習院大学理学部物理学科に進学する体で常に授業を行っています。もちろん学年ごとに教える内容のレベルは変わりますが、進学先で「これは習っていない」とは思わせたくない。あまり捻らず、王道かつ基本の内容を直球で教えているつもりです。

高等科の全学年となると約600名いますから、非常勤の先生にもっとサポートをお願いすることも可能ではあるんです。でもせっかく教員になったのだから、できる範囲で最大限は自分で教えることを心がけています。

教員生活の抱負を教えてください

2つ目標があります。ひとつは、上から教えるだけではなく、仲間として共に考えたり学びあえたりできる関係性を生徒たちと築いていきたいということ。一方通行のままで教える側の学びも止まってしまうからです。

もうひとつは、全部で40年くらいあるであろう私の教員生活の中で、物理の博士号を取得する生徒が出てくれたら嬉しいなと思います。私も博士課程に進むつもりではないのですが、教員になるタイミングを優先したため、進めなかったんですね。でも教え子から博士号を取り、その道に進む生徒が1人でも現れたら、物理界に少しは貢献した、といえるようになるのかなと思っています。



Mizuno Naosumi

STYLES in GAKUSHUIN

学習院卒のイラストレーター“のどこ”さんが
学習院生のお洒落な着こなしをスケッチで紹介！
今回は、秋晴れの目白キャンパスでスナップしたお二人がモデルです。



ももか
大学 文学部 1 年
大分県出身



Fashion point!
全身を
淡いベージュ
のワントーン
でまとめた、
爽やかな
秋コーデ

Momoka

チェックパンツが
秋らしさをプラス

Fashion point!
大胆ながらも
モノトーンで
かっこよさもある
柄シャツに、
何年も履き込んで
いるという
赤のマーチン
を合わせて

インパクト大！
な柄シャツ
がポイント



★ 好きな映画

「ノッティングヒル」
洋画が大好きで週に
一本は必ず見ます。

★ してみたいことは？

今年の冬は絶対に
海沿いの牡蠣小屋
に行きたい。

2021.10



Nivano
Mahiro



★ 今はまっていること

趣味は海上自衛隊の
護衛艦を眺めることです。

★ してみたいことは？

県外旅行
大人数での食事
カラオケ



庭野 真光

大学 法学部 1 年
神奈川県出身

nodeko | のどこ Instagram : @nodeko_

初等科・女子中高等科・大学（文学部 哲学科）卒。アパレル会社での社会人経験の後、
多摩美術大学グラフィックデザイン学科へ3年次編入、デザイン・イラストレーションを学ぶ。
卒業後、デザイン事務所勤務を経て、イラストレーターとして活動中。



伊勢田 花観



PROFILE

卒業年 2016 年
在学年数 大学 4 年
現職 会社員

ISED HANAMI

最近の私的ニュース

今はこんなことをしています
卒業後に入社した会社ですと総務関係の仕事
をしていましたが、今年から企業年金基金という
団体に向向することとなり、基金の資金管理や予
算策定等の業務に携わっています。
コロナ禍で月のほとんどが在宅勤務となり、家
で過ごす時間が増えたため、最近大学時代の友人
に勧められた刺繍を始めてみました。細かい作業
をしていると時間を忘れて無心になれるので楽し
いです。野球観戦も昔からの趣味なので、今はプ
ロ野球12球団マスコットを刺繍で作ることを目標
にしています。

卒業生の バトン

第1回

NEXT

次のバトンは

サークルの同期
(ギターアンサンブル同好会)

卒業年 2016 年の
鶴川 美羽子 さん

に繋がります。

バトンに添えるメッセージ

また同期みんなでも遊びに行こうね～

在校生へのメッセージ

思い出の場所と
関連するエピソード
思い出の場所は黎明会館です。所属し
ていたギターアンサンブル同好会の部室
で授業の合間に友達とお喋りをしたり、
地下の防音室で遅くまで合奏の練習をし
たりしていました。
色々なことを話して笑ったことも、発
表会に向けて真剣に練習をしたことも良
い思い出で、そんな素敵な思い出がたく
さん詰まった場所です。
大学時代の4年間は、振り返ると本当
にあっという間でした。自分の好きな授
業を選択し、気の合う友達と過ごすこと
ができた時間は今思うととても貴重なも
のだったと思います。今ある時間を大切
に、思いっきり楽しく学生生活を楽しん
でください！

2021年12月より

学習院の広報 Web マガジン G.LiFE Web がスタートしました！



<https://glifeweb.jp>

ぜひ、ブックマークをして
定期的なチェックをお願いいたします。

G.LiFE Web の特徴

- ・ 幼稚園から大学までの各学校と法人のニュース・取組み・イベントなど、すべての学習院の情報をお届け
- ・ 企画記事の Articles は隔週で更新予定
- ・ テーマカラーの和色と和柄が広報誌と連動
- ・ 複数タグやフリーワードとの併用検索が可能
- ・ レスポンシブ対応でスマホからも閲覧可能

続きは、G.LiFE Web の
About G.LiFE ページをご覧ください。
<https://glifeweb.jp/about/>



✿ G.LiFE の SNS もスタート！
ぜひフォローをお願いします。



Instagram
@glifeweb



Twitter
@glifeweb

引き続き G.LiFE の運営をお手伝い
してくださる方を募集中

取材やアンケートにご協力いただける学習院生や団体、
今のご活躍を周知したいご卒業生の方など気軽にお問
い合わせフォームからご連絡ください。

<https://glifeweb.jp/contact/>



広報誌 G.LiFE、G.LiFE Web
を今後ともよろしくお願いします。



おすすめの
一冊



自由からの逃走

著者：エーリッヒ・フロム 出版：東京創元社
(日高 六郎 訳)

— この本との出会い —
大学3年生ぐらいの時に、人々の政治意識に関心を抱くようになり、漠然と将来はそうした分野の研究者になりたいと思うようになり、そこで色々な文献を読んていく中で、特に感銘を受けたのがこの一冊でした。自分が日常的に感じていたこと、学問的な説明が欲しかったことなどが、とても説得的かつリアリティを持って語られているように思いました。その時からすでに40年以上経っていますが、今でも現代日本の政治や市民の政治意識に関心を持つ学生の皆さんにおすすめしている一冊です。

— 本書をおすすめする理由 —

この本はナチズムに傾いていった時代のドイツの人々の心理を考察したもので、精神分析学に基づく「社会的性格理論」という分析の枠組みは、今日から見れば様々な批判が可能ですが、そこで論じられている内容は、現在の日本、特に「ネット社会の気分」を考えると上でも大きなヒントを与えてくれます。なぜ我々は往々にして「自分は自分でありたい」と思いながら、人と同じことをしてしまうのか、「政治的・社会的な権威に嫌悪を感じる一方で、その権威に抵抗する弱者やマイノリティを攻撃してしまふのか」、「真実などどこにもないと思いつつ、ある一つの主張を固く信じてしまふのか」、こうした疑問を感じている皆さんに、特におすすめの一冊です。

この本を
おすすめして
くれたのは



平野 浩 大学 法学部 教授／学習院 専務理事 大阪府出身

— 本の探し方 — オンライン書店のおすすめ機能は仕事の上では大いに利用していますが、自分の好奇心の先回りをされているように感じることもありますので、近所の比較的大きな書店で特に目的もなく面白そうな本を探すのを楽しみにしています。

学習院の今を綴る広報マガジン



G.LiFE

OUR
GAKUSHUIN
LIFE

Public relations magazine

Vol.
107



学校法人
学習院
総合企画部
広報課

〒171-8588
東京都豊島区目白 1-5-1
Tel : 03-5992-1008 (直通)
Mail : info@glifeweb.jp

G.LiFE のウェブマガジン



G.LiFE Web :
<https://glifeweb.jp>

2022.1 発行